

3×3 競技規定（4年以下大会）

沖縄県ミニバスケットボール連盟

1 ゲームの進行について

- ゲーム開始時の攻撃権の選択は、チームキャプテン同士のジャンケンにより決定します。
- 攻守の交代（原則としてスタートエリアより攻撃します。）

- ①攻撃側のファウル、攻撃側のアウトオブバウンズ、又はバイオレーション
- ②攻撃側の得点
- ③守備側のリバウンドボールの獲得・守備側のインターセプト

※保持が変わった場合は、審判が合図をします。

●ゲームの再開

- ①守備側のリバウンドボールの獲得・インターセプトなどは、スタートエリアから攻撃します。
- ②攻撃側の得点あるいは、ファウルなどによる攻守の交代は、スタートエリアから攻撃します。
- ③守備側のアウトオブバウンズまたはバイオレーションは、その近くのサイドライン及びエンドラインからのスローインになります。（審判ボールになります。）

2 競技時間について

- 1試合、6分間の流しで行います。（試合間は2分です。）

3 得点について

- フィールドゴールは2点、3ポイントラインの外からは3点が与えられます。

4 ファウルと罰則について

- ファウルに対するジャッジは、審判に一任します。

●シュート動作中のファウル

①シュートが入った場合

バスケットカウントとして、ファウルを受けたチームに1点が加算されます。

バスケットカウントの点数	加算される点数	合計点数
2（フィールドゴール）	1	3
3（3ポイントラインの外）	1	4

②シュートが入らなかった場合

ファウルを受けたチームに1点が与えられ、スタートエリアより再スタートします。

●シュート動作以外のファウル

ファウルがおきた近くのサイドライン及びエンドラインからのスローインになります。
(審判ボールになります。)

5 メンバーチェンジについて

●メンバーチェンジは、スタートエリアより攻撃する時のみに交代できます。

(交代選手は、スタートエリア付近で待機しておくこと)

6 ヘルドボールについて

●ヘルドボールの場合は、無条件に攻守が入れ替わり、プレー再開は、スタートエリアから行います。

7 同点の場合について

●同点の場合は、フリースローで勝敗を決めます。

※両チームから交代で一人ずつフリースローを行うこと。

※サドンデス (決着がついた時点で終了) にします。

8 その他のルールについて

●スポーツマンらしからぬ行為があった場合は、審判と大会競技本部との協議のうえそのチームに対して失格を宣告する場合があります。

●プレーについては選手の自主性を尊重します。

※指導者や保護者等によるサイドコーチ (指示) は行わないようにして下さい。

●アウトオブバウンズの時等、ゲームの進行をスムーズに行うため、各コートに予備のボールを用意します。

コート図 (見本)

